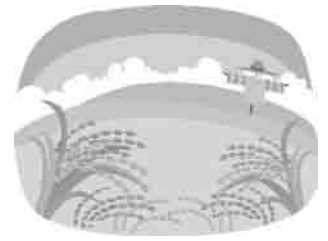


ソラメの栽培



10月中旬～11月中旬は、ソラメの種まきの時期です。ソラメは空を仰ぐように上に伸びることからその名がついたと言われ、春の味覚を代表する野菜です。ただ、鮮度が落ちやすく、本当のおいしさは自作でしか味わえません。ポイントは土づくりと春先の肥料を切らさないことです。ふくよかで大きなソラメ

自作で本当のおいしさを

の収穫を目指しましょう。

○品種

大粒種（一寸そら豆等）、長さや種（さぬき長さや等）が一般的で、完熟した豆を煮豆や甘納豆などの原料として使う品種もあります。

○畑の準備

完熟堆肥1.5^{キロ}/m²、有機肥料150^{グラム}/m²、有機石灰150^{グラム}/m²を散布して混和しておいた畑に、高さ10～15^{センチ}、幅60～90^{センチ}の畝を立て、防寒対策として黒マルチをかけ、株間40～60^{センチ}の播き穴を開けます。

○種まき

1穴に1～2粒、ヘソ（オハグロ）と呼ぶ種のくぼんだ部分が斜め下になるように埋めます。種が隠れる程度に覆土し、たっぷり水やりします。

○防寒対策

最も寒さに強い本葉5枚くらいで越冬させるのが理想ですが、遅霜の心配がなくなるまで寒冷紗などでトンネル栽培するとより安心です。

○整枝

春に出てくる新しい茎を5～8本育てますが、本葉6～7枚で主茎の先端を摘心すると、分けつの生育が良くなります。花が咲くころには、花のついていない

不要な茎を取り除きます。

茎が倒れて地面につくと病害虫が発生しやすくなるので、支柱を立ててテープを張り倒れないようにします。

○病害虫防除

周りにエンバクやライムギを植えると風よけになります。アブラムシが茎の先端につきやすいので、先端から15^{センチ}程度を摘んで駆除します。

○収穫

莢の中のマメがふくれ、莢の先端が下向きになり、莢にすじが入ると収穫の時期です。

上島町営農指導協議会より

10～11月のかんきつ管理

○温州みかん…大玉・キズ果・奇形果・極小果を除去し、M～L玉の高品質生産につとめます。不要な夏秋梢は10月中旬以降に取り除きます。

○中晩柑…直成果・小玉果・キズ果を除去し、出荷先に応じた規格の果実を残します。レモンを除き、年内出荷を行う品種はかん水を控え、糖度を高める管理を行います。年明け以降に出荷する品種は、適宜かん水します。

○施肥…樹勢の維持・回復と翌春の新梢、葉、花の充実を図るため、「ファイト」等を表のとおり施用します。

品種ごとの秋肥時期と量（10^{アール}あたり）

品 種	ファイト	アズマツ	施用時期
極早生・早生	4袋	35袋	10月
はれひめ・石地	5袋	—	10月下旬～11月中旬
早生マルチ	3袋	3袋	11月上旬～11月中旬
中生・普通	5袋	4袋	
宮内イヨカン、ネーブル	4袋	3袋	
デコボン、はるみ、せとか	4袋	—	11月上旬
八朔、甘夏	4袋	4袋	

○病害虫防除（農薬使用基準を厳守してください）

温州みかん・中晩柑

病害虫名	薬 剤 名	倍数	使用基準	
			みかん	中晩柑
ミカンハダニ	コロマイト水和剤	2000倍	7日/2回	7日/2回
サビダニ	バリュースターフロアブル			
チャノキイロアザミウマ	コテツフロアブル	4000倍	7日/1回	7日/1回
カメムシ類	テルスター水和剤	1500倍	前日/3回	前日/3回
	スタークル顆粒水和剤	2000倍	前日/3回	前日/3回
浮皮の軽減	セルバイン	300倍	—	—
貯蔵病害	ベフトップジンフロアブル	1500倍	7日/3回	前日/2回